

仮想電力貯蔵システム

蓄電設備の需給調整統合制御に関する実証

背景・目的

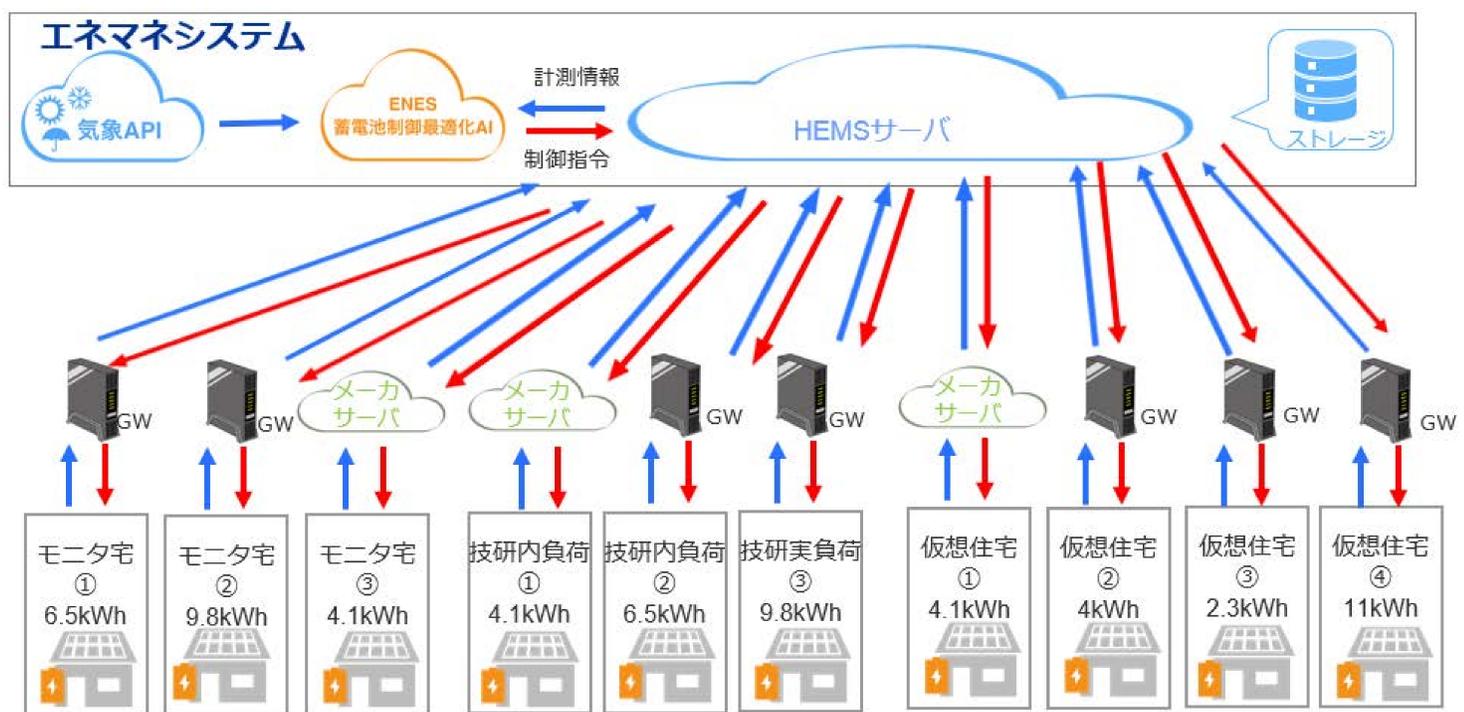
- 需要家側で設置したメーカーやスペックの異なる家庭用蓄電池を統合制御することができれば、需給調整等の系統運用者やアグリゲータなどの必要性に応じて情報伝達可能な1つの仮想電力貯蔵システムとすることが可能となる

特長

- 太陽光発電と家庭用蓄電池を含めた仮想住宅環境を構築し、発電・電力消費状況を加味した個宅最適化やこれらをアグリゲートし、将来の需給調整市場への調整力供出を考慮した、遠方からの蓄電池制御に関する実証研究を実施した
- メーカーやスペックの異なる家庭用蓄電池を一元管理することが可能

用途

- 様々な環境下にて設置した家庭用蓄電池に対しての個宅最適化制御、親VPP指令による統合制御可能な仮想電力貯蔵システムの構築



開発者のひとこと

家庭用蓄電池とエネマネシステムとの接続にあたっては、メーカーやスペックの異なる蓄電池毎にエネマネシステム側の仕様を合わせる必要があり、大変苦労しました。